

子牛の死亡はお産に関係する時に一番多く発生しています。子牛の死亡を減少させるため、出生予定日の確認とお産の前兆の観察に努めてください。産室の準備と出生直後の母子に対する処置等を含めたお産前後の管理について、もう一度確認しましょう。

お産の準備

- ◇敷料を交換し、夜間の分娩に備えて照明を準備する。
- ◇分娩前は母牛に安心感を与えるために静かにする。
- ◇消毒薬、ロープ、タオル、バケツ、お湯、ヨードチンキ等を用意しましょう。
- ◇動作が変わりよく鳴く
- ◇外陰部がふくれてゆるみ粘液量が増す

お産の前兆

- ◇乳房が最高に張る
- ◇便が柔らかく回数が増える
- ◇尾根部の両側がさらに落ち込む

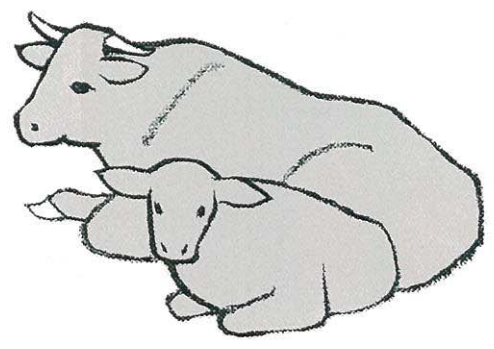
お産後の処理

生まれたばかりの子牛

- ◇鼻腔や口腔内に羊水が入っていないか確認し、拭きはらう。
- ◇乾いた布で濡れている体をふいてやる。
- ◇臍帯とその周辺をヨードチンキで消毒。
- ◇胎便の排出確認。
- ◇初乳を確実に飲ませる。
(抗体は分娩後の経過時間とともに初乳中から減少するため一時間以内に飲むように介助するか、自力で飲まない場合は強制的に投与する。なお、強制投与では一回に七百ccを限度とする)

母牛

- ◇子牛を舐めさせる
(フスマをふりかけるとよく舐める)
- ◇乳房炎に罹っていないか確認
(偏ったシコリを調べる)
- ◇出生子牛の哺乳を受け入れるか観察し、困難な場合はロープ等により保定する。
- ◇後陣痛の確認と胎盤排出の確認。
(分娩後二〜八時間後)



【分娩の経過と異常を見逃さないようにしましょう】

	分娩の経過	異常な状況
1	破水しましたか	兆候をみつけて5〜6時間たって破水しない時
2	肢が見え始めましたか	破水して2時間たっても肢が見えない時
3	肢は2本見えていますか	30分たっても2本見えない時
4	蹄は下向きですか上向きですか	前肢で上向きの時、後肢で下向きの時
5	頭はついてきますか	頭がわからない時
6	強い陣痛がありますか	見え隠れして分娩が進行しない時
7	親が子牛を舐めていますか	舐めない時 (乾いた布でふく)